

執筆：SecurityScorecard 中村 悠

編集：SecurityScorecard 橋本 詩保

## 今だから知りたい、『脅威インテリジェンス』 シリーズ #7

### 第七講：「なぜ、SecurityScorecardが市場から評価されるのか？」

前回のコラムでは、「セキュリティ リスク レイティング」の活用方法を紹介いたしました。

自組織に加えて、自組織“以外”のセキュリティ態勢の把握ができること。それにより、「サプライチェーン リスク マネジメント」への活用ができる点を説明しました。

## “SecurityScorecard”が提供する「セキュリティ リスク レイティング」

SecurityScorecardは、「セキュリティ リスク レイティング」の提供企業として、市場から高い評価(※1)をいただいている企業です。2021年 第一四半期のForrester社の評価で“Leaders”の評価、Gartnerの評価でも“Customer’s Choice”をいただいています。詳細は、[こちら](#)の投稿をご覧ください。

では、SecurityScorecard社が提供する「セキュリティ リスク レイティング」は、どのようなソリューションでなぜ市場から高い評価をいただいているのでしょうか。

その理由を、このコラムで、

- 1)画面の見やすさ
- 2)確認できるセキュリティ イシューの多さ
- 3)レイティング スコアと侵害の発生確率の相関関係

という3つのキーワードに絞って説明します。

続きを見たい場合は

メーカーBlog^

[HTTPS://SECURITYSCORECARD.COM/THREAT-INTELLIGENCE-7](https://securityscorecard.com/threat-intelligence-7)

